

令和7年度上大久保中学校だより

上中だより

第11号

令和8年3月2日(月)発行

学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 TEL.855-3901

<http://kamiokubo-j@saitama-city.ed.jp>

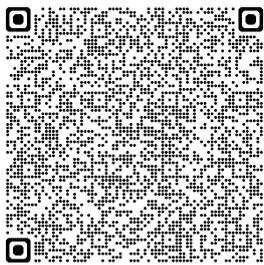
「ミラノ・コルティナ冬季オリンピックから」校長 たかく まさゆき 高久 正行

3月を迎えました。旧暦では、3月を和風月明である「弥生」が使用されていました。その由来は、「木草弥生い茂る(きくさやおいしげる)」が短縮され、「弥生」となったと言われており、草木が芽吹き、いよいよ(弥)生い茂る(生)という意味で、春の訪れを表す月であると言えます。本来であれば、寒さが和らぎ、桜や菜の花が咲く季節なのですが、2月に夏日を観測した地域があったというニュースを耳にすると、春もあつという間に過ぎ去ってしまうかもしれません。だからこそ、春という季節をしっかりと実感したいものだと思います。

2月に、「ミラノ・コルティナ冬季オリンピック」が開催されました。冬季大会として過去最高の24個のメダルを獲得するなど、連日の日本選手の活躍によって大いに盛り上がったと感じています。中でも、印象に残っているのが、選手同士が互いにリスペクトし合っていると感じる場面を多く見られたことです。スノーボードでは、金メダルを獲得した選手をみんなでたたえ合い、フィギュアスケートの団体戦でも、良い演技をした選手に対して他国の選手が温かい拍手を送っていました。国や国籍、そして勝敗に関わらず、素晴らしい演技をした選手に対して褒めたたえている光景はとても感動しました。また、冬季大会は比較的個人競技が多いのですが、その中で行われたフィギュアスケートの団体戦やスキージャンプ混合団体戦での選手同士の気持ちの繋がりが次の選手のために精一杯の演技をしようする思いも大変素晴らしいと思いました。選手のコメントにも、我々が勇気づけられるものが多くありました。個人的には、スノーボード女子ビッグエアで金メダルを獲得した村瀬心桜選手の「スノーボードは人に勝つ競技ではなく、自分に勝つ競技」という言葉、フィギュアスケートペアで金メダルを獲得した「りくりゅう」ペアの三浦璃来選手が、フリー演技の当日にパートナーの木原龍一選手に掛けた「まだ終わっていない。積み重ねてきたことがあるから、絶対できる」という言葉は特に印象に残っています。4年間積み上げてきた努力と自信、そして気持ちの強さが言葉の力として表れていました。生徒たちの心に響く言葉がきつとあると思っています。3月6日からは「ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック冬季競技大会」が開幕します。また、野球の WBC も始まります。応援を通して、選手の活躍する姿や発する言葉を胸に刻みつつ、今後の生活の糧になってくれることを期待しています。

3月に入り、学校では、2年生が「館岩自然の教室」を実施します。そして、13日(金)に「第46回卒業証書授与式」、26日(木)に「修了式」と、令和7年度のまとめと令和8年度に向けての気持ちを高めていく月でもあります。生徒たちが希望をもって新たなステージに立てるよう、保護者・地域の皆様にもご協力いただければ幸いです。

令和7年度も大変お世話になりました。今後とも本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。



学びの道しるべ

1月に実施した「さいたま市学習状況調査」を受けて、教育委員会が作成したリーフレットを左記の二次元コードからご覧いただけます。

第3回学校運営協議会を開催しました!!

2月20日(金)に開催した学校運営協議会では、本年度の取組について、委員の皆さまから多くのご意見をいただき、本校の教育活動に高い感心を寄せていただいていることに感謝申し上げます。最後に、来年度の学校運営方針の説明と仮承認を行いました。各委員の皆様、この一年間大変ありがとうございました。



さいたま市の子どもたちのタブレットが変わります!!

さいたま市では、国の GIGA スクール構想のもと、ICT を活用した学びの改革に取り組んでまいりましたが、子どもたちの ICT 環境をさらに充実させ、豊かな学びを進められるようにするため、3月から端末を「iPad」に更新することといたしました。

※仕様 iPad(A16)128GB Wi-fi モデル、STM Dux キーボード一体型ケース、付属品:充電用アダプター、ケーブル、タッチペン

本校でも、1・2年生に配付し、各自セットアップを実施後、授業等様々な場面での活用を図ってまいります。